

使いたいときだけ、ワイヤーを伸ばして干す。







小さくてもしっかり干せる

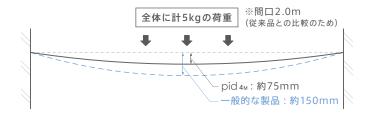


※一般的な竿タイプの室内物干し製品と同等の耐荷重

必要なときにワイヤーを伸ばせば、簡単に洗濯物が干せる室内物干し。インテリアに溶け込むシンプルな本体は、物干しとしての存在感を感じさせません。そんな控えめな存在でありながら、丈夫なステンレスワイヤーの耐荷重は10kg。一般的な竿タイプの室内物干し製品と同等の荷重に耐えることができます。

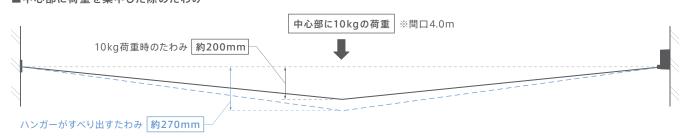
たわみにくく、洗濯物もずれにくいステンレスワイヤー

■ロープを用いた一般的な物干し製品とのたわみ比較



ロープを用いた一般的な物干し製品よりも、ステンレスワイヤーは大きくたわみません。中心付近に10kgの荷重を集中させてもワイヤーのたわみは約200mm程度。ハンガーがすべり出すたわみの大きさは約270mmとなっているので、10kgの範囲内では洗濯物はすべりにくくなっています。

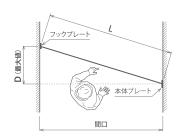
■中心部に荷重を集中した際のたわみ



最大1mの斜め掛け対応



誤ってタブを離してしまっても、 歩行スピードでワイヤーが巻き 取られるよう設計されています。 日常で使用する製品だからこそ、 万が一のときも安心してご使用 頂くための機能です。



ワイヤーを斜めに張る場合は、 下記の寸法内で中心から横に ずらすことができます。

【D(最大値)の計算方法】

① 間口が2m未満 D≦ 間口÷2 ② 間口が2m以上 D≦ 1.0m

(L≦4.0m)

洗濯物重量の目安

平日の平均的な洗濯物 (家族構成 4人:父・母・小学生・幼稚園児を想定)



※重量は1枚あたりの洗濯・脱水後の重量、()内は乾燥後の重量です。 ※重量はあくまで目安です。 脱水後の洗濯物の重さは、乾燥時の約1.5倍になります。

総重量 9.14kg

※ハンガー干しだけでなく、直接洗濯物を掛けて頂くこともできます。

なお、毛玉などがワイヤーに残ると本体の詰まりなど故障の恐れがあるため、定期的にワイヤーを拭いて頂き、汚れを取り除いてご使用ください。

設置例





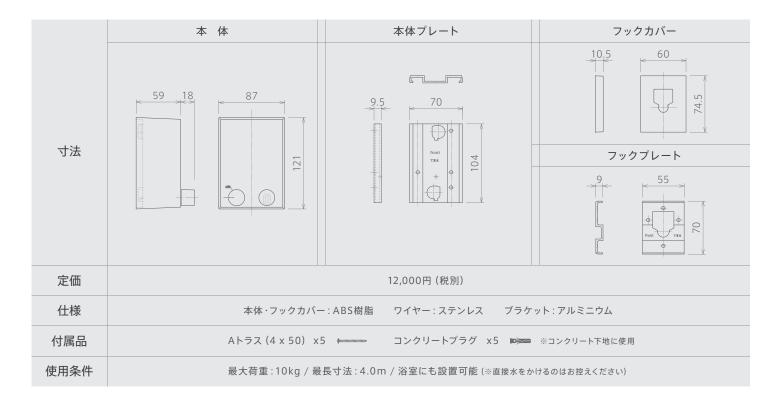




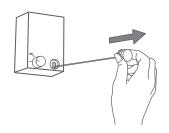


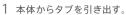


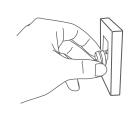
写真提供 📵 Instagram: n_ie 様、harumic68 様、chi-zu10105 様、gguriko 様 👩 RoomClip: yume12 様 ※画像等の無断使用・転載を固く禁じます。



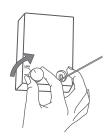
使用方法





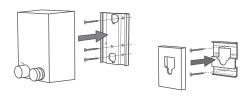


2 タブを対面のフックに引っかける。



3 本体のロックをする。

取付方法

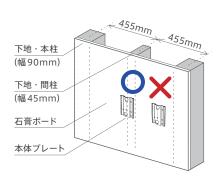


アルミプレートを壁に固定し、本体とフックカバーを被せるだけです。壁が仕上がった後でも下地の位置が分かれば、縦横双方の下地への取り付けが可能です。

**なお、取り付けには「下地探し」や「ドリル」など、専用の工具が必要になります。

下地適合表

0	本柱 90 ~ 105mm
0	間柱 27 ~ 45mm
0	コンパネ 12mm
Δ	LGS
×	石膏ボード
×	ボード用アンカー



- ※本柱、間柱だけでなく、12mmのコンパネでも取り付けが可能です。
- ※LGSへの取り付けについては、弊社ホームページの「pid 4M」製品ページ内、FAQ「取付・設置について」の項目をご確認ください。

↑ 注意 取扱時の注意事項

- ・10kg 以上の洗濯物を掛けないでください。 また、ワイヤーに強い衝撃を与えないでください。 製品や壁面破損の原因となります。
- ・洗濯物を干している時は、ロックを解除しないで ください。製品や物の破損の原因となります。
- ・洗濯物を干さない時は、ワイヤーを収納してください。収納しないとワイヤーと接触して、けがの恐れがあります。
- ・ワイヤーに汚れが付着していると故障の原因となるため、定期的にワイヤーを拭いてください。
- ・製品本体 (ワイヤー以外の部分) に水をかけたり、 濡れたものを掛けないでください。故障の原因と なります。
- ・洗濯物の下に、ストーブなど暖房器具を置かない でください。火災の原因となります。
- ・本製品は室内専用です。ベランダなどの屋外では ご使用頂けません。
- ・分解・修理・改造は行わないでください。
- ・ぶらさがる、落下すると危険なものを吊り下げる など、物干し以外の用途に使用しないでください。

